

番号	課名	グループ名
D - 24	産業促進課	商工・観光連携

事務事業名	公益社団法人臼津地域シルバー人材センター補助事業		新規・継続	継続
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	I-3-7 高齢者の生きがいづくりへの支援	ソフト・ハード	ソフト
	関連施策名(施策コード)			

基本項目	事業内容(経緯)	臼津地域シルバー人材センター運営費に対する補助金を支出するものです。 負担割合 国：1/2、市：1/2 (均等割・人口割により、臼杵市・津久見市の負担額を算出)							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値
					H25	H26	H27		
		① 補助金交付額	シルバー人材センターに対する補助金	千円	7,470	7,631	8,118	8,169	8,417
		② 会員数	シルバー人材センターの会員登録数	人	431	420	445	420	510
	③								
④									
事業対象	働く意欲のある高齢者	成果	高齢者の生きがいの充実と社会参加を促すとともに、豊富な知識と経験、技能を活かすことにより地域社会への貢献が図られました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
				H25	H26	H27			
	受託額	シルバー人材センターが受託した契約金額	千円	232,516	241,154	246,000	232,305	250,000	

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	8,401						8,401

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	補助金を交付することで高齢者の就業機会を確保することにつながっています。 高齢者の生きがいの充実と社会参加・地域社会の活性化に貢献し、会員の健康増進にも役立っています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ない	会員1人あたりの受託額が増加しており、効率的な運営が図られていると考えられます。

事業の問題・課題	平成24年度より国庫補助金の減額に伴い、市補助額も大幅減額となりましたが、経費削減等の経営健全化が、事業継続に繋がっています。 しかしながら、事業規模が拡大すると民間事業者との受託金額格差が生じ民業圧迫につながる危険性があります。
前年度の改善案	今後、国庫補助金額の増減は不透明であるので、更なる経営健全化への取組みを促し、必要な助言を行います。
具体的な改善案	今後、国庫補助金額の増減は不透明であるので、更なる経営健全化への取組みを促し、必要な助言を行います。

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	センターの労働力は年々需要が増えており、高齢者の生きがい対策、地域活性化の為に必要です。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
D - 25	産業促進課	臼杵ブランド推進室

事務事業名	うすき海のほんまもん漁業推進協議会事業						新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-24 安定的な水産業経営の実現								
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	市民団体、漁業団体代表、行政が一体となり、臼杵産魚介類のブランド化を目指し、流通・販売の支援及び広報宣伝活動を積極的に行います。また地産地消や魚食の普及を推進し臼杵の魚のおいしさを再確認することにより、臼杵産魚介類の消費拡大を図ります。今年度は重点PR魚種の広報・宣伝活動として旬入りイベントを開催するとともに、臼杵藩四季めぐりでPR魚種を掲載しました。また、地産地消推進のため臼杵産魚介類を取り扱うお店に販売促進シールの配付、増刷を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	正組合員数	漁協臼杵支店の正組合員数	人	199	193	192	182	200
		②	商談会・試食会等への参加	参加回数	回		9	10	4	10
③										
④										
事業対象	漁業従事者	成果	四季めぐりにて重点PR魚種の掲載を3回行いました。OBSフードスタジアムでは臼杵の太刀重を販売し700食を完売することができ、カマス・金ハモ旬入りイベントでは限定120食分完売し広くPRを行うことができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	生産額	漁協臼杵支店における生産額	千円	572,638	646,381	646,465	525,893	647,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	7,306						7,306

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	臼杵産魚の旬入りイベントなどを通しPR活動を行うことでさらなる臼杵産魚の魅力向上に繋がります。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が見られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	魚価単価の向上及び、臼杵産魚の取引業者が増加するなど、水産業の活性化につながります。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	予算内で販促グッズやチラシを作成しイベント等を通して本市の魚介類のPRが行われており効果があると考えます。
事業の問題・課題	臼杵産魚の魚価向上を図るためには市外・県外への流通が必要不可欠です。しかし、広報・宣伝が十分ではありません。今後も漁協や卸業者と連携を図り商談会やイベント等に積極的に参加するなど広報・宣伝の強化を図る必要があります。			
前年度の改善案	今後、臼杵特産魚を取扱う店舗の増加や、流通・生産体制の構築を図るため、6次産業化の取組みを強化するとともに、漁協などの関係機関との連携を強化します。			
具体的な改善案	漁協、卸業者と流通体制についての協議を行います。商談会やイベントに積極的に参加します。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	臼杵産魚のPR及び地元消費の喚起を行うことは、水産振興の要であり、且つ「食」の魅力で交流人口を増やすことにつながります。
------	------------------------	----	--

番号	課名	グループ名
D - 26	産業促進課	臼杵ブランド推進室

事務事業名		漁業担い手育成交付金事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-24	安定的な水産業経営の実現							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	漁業者の高齢化やそれに伴う漁業従事者数が激減しており、漁業就業者の確保が課題となっています。この事業は本市において新たに漁業を開始する方が円滑に漁業に従事できるよう、就業初期段階における資金の給付を行うことにより、漁業への就業と定着を図り、将来の水産業を担う人材を確保・育成することを目的としています。 今年度は新たに正組合員になった2名の後継者に対し、就業奨励金300千円及び定着支援100千円/月(最長2年間)の交付を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	担い手育成交付金実績人数	後継者・新規就業者の人数	人	-	-	-	2	6
		②								
	③									
	④									
	事業対象	漁業就業予定者	成果	若い新規後継者が2名誕生しました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	担い手育成交付金額	交付金額	百万円	-	-	-	2,400	5,880		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	8,206						8,206

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		漁業従事者が減少しており、新たに漁業従事を検討しているものに対し魅力的な交付金制度は必要であると考えられます。
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		漁業従事者が減少している中で、限られた予算内で定住、奨励金、定着の3種類の補助金を設けることにより2名の従事者が誕生し、効果があったと考えます。
事業の問題・課題		本交付金制度は新規就業者と漁業後継者を対象として行っています。市外から新規就業者として申請を受けた場合の受け入れ態勢がまだ確立できていません。			
前年度の改善案					
具体的な改善案	漁協臼杵支店と受け入れ態勢についての協議をすることで改善に繋がると考えられます。				

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	漁協組合員数が減少していく中、漁業後継者を確保していくことは喫緊の課題であり、定着化・育成により本市漁業の担い手として成長してもらわなければなりません。
------	------------------------	----	--

番号	課名	グループ名
D - 27	産業促進課	臼杵ブランド推進室

事務事業名		臼杵市ブランド開発支援事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-25	うすきブランドの開発と6次産業化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市の農林水産物等の地域資源を活用した安心安全で魅力ある特産品の開発、加工、販売や販路拡大などの主体的な取り組みを支援することにより、特産品のブランド化、地産地消の促進等地域産業の活性化を図ることを目的として補助金の交付を行いました。 今年度は、研究開発支援事業に4件、商品化促進支援事業に2件、商品化促進支援事業から販売力強化支援事業までを一括して実施した1件がこの事業を活用し、研究開発品が9品、新たに4品が商品化されました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	新商品開発の個数	新たに研究開発された試作品及び商品の個数	個	-	-	8	13	25
		②								
③										
④										
事業対象	農林水産加工等を行う組織、食品加工業者など	成果	試作品が9品目、新たな特産品が4品目開発されました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	うすきブランド認証	臼杵市のブランド認証制度による特産品のブランド認定の数	件	-	-	-	-	25		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	5,030						5,030

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		新たな特産品の開発を目指す事業者には、非常に取り組みやすい事業です。また「うすきブランド」として新たな特産品を生み出すには必要な事業です。
		B	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		新たな特産品開発に取り組む事業者も多く、これからさらに事業にチャレンジする事業者も期待されます。	
	A	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		既存の商品に対しても使えるよう、補助金制度の改善など事業者に対し充実した制度に改善できる余地があります。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		

事業の問題・課題	既存の商品や特産品を開発後、うすきブランドとして認証していく制度の確立が課題となっています。		
前年度の改善案	事業者と臼杵市が連携し、商談会へ参加し販路の確保やブランド化に取り組みます。		
具体的な改善案	開発段階から事業者と連携を密にして、より魅力的で売れる商品の開発に取り組みます。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	当事業により開発された商品をブラッシュアップし特産品に昇華させ、かつ、臼杵ブランドの認証基準を早急に制定していく必要があります。
------	------------------------	----	--

番号	課名	グループ名
D - 28	産業促進課	商工・観光連携

事務事業名	がんばる商店街総合支援事業		新規・継続	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-10-19	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化	
	関連施策名(施策コード)			

基本項目	事業内容(経緯)	商店街全体の商業集積としての魅力の向上を図るため、繁盛店を増やすための取組や商店街に求められている社会的課題に対応した取組等に対して支援しました。 大分県がんばる商店街総合支援事業による商店街活性化事業(補助率:県 1/3、市 1/3) 実施主体:中央通り商店街振興組合 「アートを活用した商店街活性化事業」「インバウンド対策看板設置事業」								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	がんばる商店街総合支援事業実績件数	事業実績件数	件	-	-	2	2	3
		②								
	③									
④										
事業対象	事業者	成果	商店街の魅力向上や来客者数の増加につながり、商店街地域の新たな賑わいづくり及び活性化が図られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	商店街の来街者数	1日あたりの商店街来街者数	人	991	1,047	934	975	1,200		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,592			557			1,035

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	商店街の魅力を上向きさせ、来街者及び個店の売上が増加することにより、市内商業の振興及び中心市街地の活性化が図られるため、必要な事業であると考えられます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	来街者及び個店の売上増加により市内商業の振興が図られます。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	本事業により来街者が増加しているため、効率的に効果が出ていると考えられます。	
事業の問題・課題	商店街の空き店舗増加や後継者不足、売上の減少などが全国的な課題となっています。商店街で一過性のイベントを実施すると、来街者は増えるものの、買い物客は少なく大幅な売上増にはつながらないという問題点があります。			
前年度の改善案				
具体的な改善案	商店街活性化のためには一過性のイベントを実施するだけでなく、個店の魅力を知ってもらうための継続的な事業を実施し、平常時の来街者、売上を伸ばすための取組が必要です。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	商店街の独自性のある取組を継続的に支援することは、商店街への誘客のみならず、交流人口の増加につながり、中心市街地及び本市の活性化になります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
D - 29	産業促進課	商工・観光連携グループ

事務事業名		サーラ・デ・うすき管理・運営事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-10-19 商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化								
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	サーラ・デ・うすきは、これまでのITを活用した中心市街地の拠点施設から、「臼杵の台所」を基本コンセプトに「臼杵の食」についての情報発信を行う、中心市街地の新たな賑わい創出施設としての整備を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	臼六オープンラボの利用状況	利用者数	人	-	-	-	140	210
		②	つまみキッチン利用状況	利用者数	人	-	-	-	268	400
③										
④										
事業対象	市民及び観光客	成果	農林水産物を活用した加工品の研究・開発にチャレンジできる食品加工室、臼杵の地魚、ほんまもん農産物が味わえるレストラン等を整備し、多くの市民・観光客の方々が訪れ中心市街地の活性化が図られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	来館者数	サーラ・デ・うすき来館者数	人	60,129	67,725	53,865	47,204	70,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	188,547		12,870		143,000		32,677

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		中心市街に位置し、市民や観光客の方々などが交流し、憩いや学びの場として活用しています。レストランへの誘客や食品加工室など活用した講座等を開催し、新たなにぎわい創出を図る必要があります。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		リノベーション後、管理委託している団体も徐々にではあるがイベント等を開催し、来館者も増加傾向にあるが、まだまだ、改善の余地はあります。
B		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		改修工事等があったため、一年間フル活用することはできなかったが、施設を訪れる市民や観光客および施設を利用したイベントも復活し、交流の場として活用しています。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	リノベーション後、1年経過していないため、効果は分かりづらい状況にあるが、問題となっている案件については、随時解消しながら、また、商店街、各種団体や周辺の観光施設と連携した賑わい創出ができるよう運営していきます。			
前年度の改善案	「サーラ・デ・うすきリノベーションプラン」を策定し、現在、施設の改修を行っていますが、サーラ・デ・うすきが中心市街地の賑わいを創出する新たな拠点としてソフト面での事業の充実を検討します。			
具体的な改善案	サーラ・デ・うすきのあり方や活用について検討するために、今年度サーラ・デ・うすき活用検討会を行いました。引き続き活用検討会を開催し、内容に基づき施設等整備を行います。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	サーラの来館者数を増加させ「食」の情報を広く発信し、中心市街地の賑わい創出と活性化につなげていく必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
D - 30	産業促進課	商工・観光連携

事務事業名	企業立地促進事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-20	地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	企業立地促進条例に基づき、企業の立地及び設備投資を促進し、産業の振興及び雇用拡大を図ることを目的に助成措置を講じました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	企業立地促進条例に基づく助成	助成件数	件	5	4	2	2	2
		②	地場企業への訪問	訪問件数	件	4	4	6	7	10
③										
④										
事業対象	市内立地企業及び増設企業	成果	企業の設備投資に対し助成を行うことで、産業の振興及び雇用機会の拡大が図られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	企業立地促進条例に基づく助成	助成実績額	千円	31,951	10,104	20,000	19,186	20,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト (千円)	内訳	国庫補助金 (千円)	県補助金 (千円)	市債 (千円)	使用料・手数料・その他 (千円)	一般財源 (千円)
	22,955						22,955

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	国内での企業誘致環境は厳しい状況となっている中、企業進出及び増設を考えている企業に魅力と感ぜてもらえる助成制度は必要であると考えられます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	企業の進出、増設により産業の振興及び雇用の拡大が図られます。
	効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	国内での企業誘致環境は厳しい状況となっている中、増設を考えている地場企業に対し、助成施策を魅力に感ぜてもらうことで、地元での増設のきっかけとなります。
事業の問題・課題	国内市場の縮小による先行き見通しが厳しいこともあり、企業の増資が難しい状況にあります。			
前年度の改善案	県等関係機関と連携を図り、情報収集及び要望把握に努めます。			
具体的な改善案	引き続き、県等関係機関と連携を図り、情報収集及び要望把握に努めるとともに、これまで以上に中小企業が活用しやすい制度や、他市からの市内企業への通勤者等に対する定住促進などの必要な助成措置を検討します。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する（重点継続）	理由	地元雇用の拡大と産業振興を図る為に必要です。
------	------------------------	----	------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
D - 31	産業促進課	商工・観光連携

事務事業名		臼杵市まちなか空き店舗等活用事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-19 商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化								
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	市内商店街地域の活性化を図るため、空き店舗又は空き家を有効活用し、商業振興、地域振興を図る事業者に対し、店舗の内装費、外装費、広報費及び家賃に対し助成を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	空き店舗補助金交付額	空き店舗補助金交付金額	千円	1,500	1,500	880	3,766	H29事業終了
		②								
③										
④										
事業対象	事業者	成果	平成28年度4店の空き店舗が活用され、市内中心部の新たな賑わいづくり及び活性化が図られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	空き店舗活用件数	対象地域内における補助金を利用した空き店舗活用件数	千円	3	3	1	4	H29事業終了		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	4,172						4,172

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	新規出店者が商店街組合、商工会議所等の団体に加入することで経済効果だけでなくまちづくりの活性化にも寄与しています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	空き店舗活用件数が増加しているため、効率的な事務事業の執行が図られていると考えられます。
事業の問題・課題	今年度、年間交付決定件数が4件でした。問合せ数は多いですが、申請まで至らないケースも多いです。出店希望者とマッチングする店舗が少なくなっています。現在、貸出できる空き店舗も減少しているため、所有者が貸す意思のない空き店舗を貸していただけるよう、今後協議をしていく必要があります。		
前年度の改善案	所有者が貸す意思のない空き店舗を貸していただけるよう、協議をしていきます。引き続き、市報、CATV等、更なる広報等を行い利用促進を促します。		
具体的な改善案	所有者が貸す意思のない空き店舗を貸していただけるよう、協議をしていきます。引き続き、市報、CATV等、更なる広報等を行い利用促進を促します。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	商店街の空き店舗活用により創業支援や賑わい創出につながっており、中心市街地活性化につながっています。
------	---------------	----	--

番号	課名	グループ名
D - 32	産業促進課	商工・観光連携

事務事業名		商工組合中央金庫（商工中金）貸付事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-20	地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-19	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
基本項目	事業内容 (経緯)	国の中小企業政策の一翼を担う政府系金融機関である商工組合中央金庫に対し、安定した事業資金を市内中小企業者に円滑に提供することを目的として貸付けを行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	融資実績件数	融資件数	件	31	26	35	28	35
		②								
	③									
④										
事業対象	中小企業	成果	平成28年度は商工中金より28名に融資を行い、市内中小企業の金融支援・経営の安定化が図られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	融資実績額	融資金額	百万円	3,247	3,616	3,917	3,296	4,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	8,558						8,558

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	商工中金は中小企業に対して有利な条件で融資を実行しています。また融資することで、中小企業の経営が安定し、雇用等の効果が期待できます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	中小企業の経営の改善や資金繰りのための融資が実行され、経営の安定が図られています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	商工中金に対し貸付を行うことで、貸付金の数倍以上の金額が市内企業へ融資されています。
事業の問題・課題	政府金融改革により完全民営化が決まっていますが、震災の影響や不景気等により当分の間延期となったため、今後の動向に注視が必要です。			
前年度の改善案	県や各市町村と連携し、商工中金に関する情報の把握に引き続き努めていきます。			
具体的な改善案	県や各市町村と連携し、商工中金に関する情報の把握に引き続き努めていきます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市内中小企業の経営の安定につながっており、不安定な経済状況の中、今後も必要な事業だと考えます。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
D - 33	産業促進課	商工・観光連携

事務事業名		中小企業振興資金預託事業						新規・継続	継続	
		ソフト・ハード		ソフト						
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-10-20	地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名(施策コード)	IV-10-19	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
事業内容(経緯)		臼杵市中小企業振興資金融資要綱に基づき、中小企業振興のため市内金融機関に対し無利子にて預託を行い、預託金を貸付原資として、預託金の4倍相当額の融資を中小企業に行いました。								
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	融資実績件数	融資件数	件	7	0	4	2	10
		②								
	③									
④										
事業対象		中小企業	成果	平成28年度は市内金融機関より2件の中小企業振興資金融資が行われ、中小企業の金融支援・経営の安定化が図られました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	融資実績額	融資金額	百万円	35,500	0	25,000	13,200	80,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	40,558						40,558

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	中小企業の経営安定のため、金利も低く、利用しやすい融資制度は必要だと考えられます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	2件、1,320万円の融資実績があったため、有効であったと考えられます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	金融機関では預託金の4倍相当額までの融資が可能のため、融資実行による中小企業の経営の安定化など預託額に見合った効果が得られています。
事業の問題・課題	中小企業への融資件数はリーマンショック後の不況時に比べ減少しています。さらに利用しやすいよう融資条件の変更や新融資制度の創設を検討する必要があります。			
前年度の改善案	各金融機関との連携を図り、情報交換及び要望把握に引き続き努めます。			
具体的な改善案	<ul style="list-style-type: none"> 各金融機関との連携を図り、情報交換及び要望把握に引き続き努めます。 平成29年度より創業者を対象とした融資制度を創設予定です。 			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市内中小企業の設備投資や運転資金の調達が行われていく為に必要な事業です。
------	---------------	----	--------------------------------------